

来週の市場とレート予想

上田八木短資株式会社

	2/27(月)	2/28(火)	3/1(水)	3/2(木)	3/3(金)
無担保O/N	△0.080% ~ 0.001%				
銀行券	△400	△2,000	トシ	トシ	△1,000
財政他	△14,100	+4,000	△4,000	△65,000	△4,000
資金需給	△14,500	余2,000	△4,000	不65,000	不5,000
主な要因		交付税特会借入・償還		法人税・消費税・保険揚げ 交付税特会借入・償還	
オペ期日	共通担保(全店) △1,400 国債補充供給 +300 CP等買入 △200				成長基盤強化 -800
オペスタート	共通担保(全店) +1,400 ETF買入 +200	短国買入 +5,000 国債買入 +7,700 CP等買入 +3,000			
(日本)		日銀桑原理事が 第3回フィンテックフォーラムで挨拶 日銀、当面の長期国債等買入の 運営について 鉱工業生産指数(1月)	日銀佐藤審議委員挨拶(徳島) 債券市場サーベイ(17年2月)	マネタリーベース(2月) 日銀営業毎旬報告 (2月28日現在) 日銀が保有する国債の 銘柄別残高 日銀による国庫短期証券の 銘柄別買入額	消費者物価指数 (CPI全国1月、東京都区部2月) 完全失業率(1月) 家計調査(1月) 有効求人倍率(1月) 消費動向調査(2月)
(海外)	米 耐久財受注(1月) 米 中古住宅販売成約指数 (1月) 米 ダラス連銀総裁講演	米 10-12月GDP(改定値) 米 消費者信頼感指数(2月) 米 トランプ大統領、議会で演説 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 米 セントルイス連銀総裁講演 米 アトランタ連銀の ロックハート総裁、退任 欧 ユーロ圏消費者物価指数 (2月、速報値)	米 地区連銀経済報告 (バージェブック) 米 個人所得・支出(1月) 米 ISM製造業景況指数(2月) 米 ダラス連銀総裁講演 欧 ユーロ圏製造業PMI (2月、改定値)	米 新規失業保険申請件数 (前週分)	米 ISM非製造業景況指数 (2月) 米 イエレンFRB議長講演 米 フィッシャーFRB副議長講演 米 シカゴ連銀総裁と リッチモンド連銀総裁が パネル討論会に出席

[インターバンク市場]

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.04 ~ 0.001
SPOT 2M	△0.01 ~ 0.001
SPOT 3M	△0.01 ~ 0.001
SPOT 6M	△0.01 ~ 0.001

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、327兆5,200億円から始まった。その後は21日の短国・国債買入オペを主因に増加し329兆2,700億円となった。その後は横ばい圏で推移し、週末は329兆3,100億円を越えた。無担保コールON物は週初△0.07~△0.02%で取引されたが、その後は週末まで調達需要が強く、出合のレンジは日々上昇し、週末は△0.035~△0.015%で多く取引された。加重平均金利は、週初の△0.046%から始まり、週央は△0.042%→△0.036%→△0.032%と上昇し週末は△0.033%で越えた。今週も試取りの動きが散見され+0.001%の出合が見られたが、地合いに影響はなかった。ショートタームではON物の金利上昇を反映し、前週比で出合のレンジが上昇した。地銀業態の調達で△0.02~+0.001%の出合が見られた。

来週は、CPI・完全失業率等(3日)、海外では、米国各地区連銀総裁の講演が複数予定されている他、トランプ大統領が議会で演説(28日)、バージェブック(1日)、イエレンFRB議長・フィッシャーFRB副議長の講演(3日)などが予定されている。

[オープン市場]

CP3M(a-1+)	0.000 ~ 0.005
TDB 3M	△0.300 ~ △0.200
現先(on/1w)	△0.100 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行額は約1兆3,300億円で、期落ち額約1兆5,300億円(金融機関・ABCP除く)をやや下回った。月末発行が膨らみ、様々な業種で大型案件が見られたが、大半は3月末を越えない償還であった。

a-1格相当銘柄の3M物入札発行レートは、0.0010%割れで推移した。

現先レートの中心は、△0.100%~0.000%程度で推移した。

来週の期落ち額は4,400億円程度となっている。

<TDB>

23日に国庫短期証券3M第666回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.2505%(前回債△0.2024%)、平均落札レートは△0.2593%(同△0.2156%)と前回債と比べて利回りは低下した。セカンダリーは3Mで△0.36%近辺の地合いとなっている。6Mは△0.29%近辺の地合い、1Yは目立った出合いは見られなかった。来週2日に3Mの入札が予定されている。

<レポ>

足許GCは週初、△0.085%近辺の水準から始まった。24日受渡しでは国債買入オペが合計1兆2,950億円オファーされ、レートが若干低下し△0.09%が中心の出合となったが、27日受渡しではTDB3M・20年債の発行要因により△0.085%まで上昇した。週末には国庫短期証券・国債買入オペが合計1兆2,700億円オファーされたことに加え、月末要因も重なり、△0.13%近辺での出合いも見られるなどレートが大幅に低下し越えた。

SC取引では、週を通して10年333回債のビッドが多く、△0.10%台後半~△0.30%台前半で多く取引された。10年345回債は、週央に△0.40%での出合いが見られた。その他2年370・371・372・373回債、5年123・126・127・128・129・130回債、10年332・333・334・335・338・341・342・343・344・345回債、20年158・159回債、30年50・51・52回債、40年9回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。